

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州・山口地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: info@npo-kts.org URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.44

2025年冬号

皿倉山 曙光

新年のご挨拶

NPO法人 北九州テクノサポート 会長 影山 隆雄

初春のお慶びを申し上げます。

皆様には、日頃からNPO法人北九州テクノサポートの活動に対し、ご理解を賜りまして、厚くお礼申し上げます。



昨年は、ウクライナとイスラエルを巡る2つの戦争によって世界は分断が進む中、中国経済の減速と米国トランプ氏の再選に伴い、世界経済の先行きは見通し難くなりました。さらに、地球温暖化による自然災害の激甚化が深刻で、温暖化ガス排出量削減は待ったなしの状況になっています。

九州経済調査協会によれば、九州の2024年の経済成長率は、全国を0.4ポイント上回る1.4%との見通しです。これは、物価の高騰で民間消費は伸び悩むものの、半導体関連企業の設備投資が伸びることによるものです。

当法人は、北九州において高度技術や豊富な人脈を有する定年退職者(OB)を地域の貴重な人財として中小企業の支援を通じて地域振興を目指して活動しています。2024年10月に、(一社)環境共創

イニシアチブから中小企業等に向けた省エネルギー診断拡充事業の診断事業者として登録され最適化診断の実施組織となりました。

本年は、GXとDXを通じたポストコロナ社会へ向けた取組みとして、①EA21地域事務局環境未来の山口県、福岡県、北九州市の環境局と連携した新規企業の登録促進活動、②省エネルギー診断拡充事業の診断事業者として中小企業の温暖化ガス排出量削減支援、③よろず相談による中小企業とスタートアップの伴走支援、④(公財)北九州活性化協議会からの委託による北九州市風力発電人材育成連絡会の業務支援事業と新しいインターンシップコーディネート事業、⑤(公財)北九州観光コンベンション協会からの委託による展示会を通じてビジネスマッチング事業を強化します。

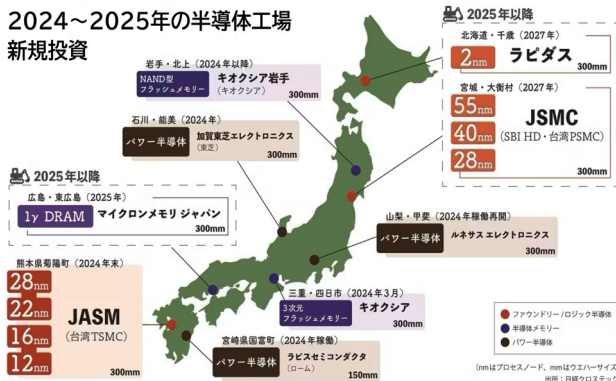
当法人の活動は、地域の関係機関・企業様のご支援の下に成り立っています。当法人をご活用いただき、共に成長する地域の技術集団として、本年もご愛顧いただければ幸いです。末尾ながら、皆様にとりまして最良の年となりますよう祈念しご挨拶とさせていただきます。

Topics 1. 「我が国半導体産業復活の背景と今後の課題」

NPO法人 北九州テクノサポート 会長 影山 隆雄

1988年に50%あった日本企業の半導体世界シェアは今では10%、この30年間に世界の半導体は年率5%超の高度成長を続けたのに日本はまったく成長できませんでした。世界市場は、今後さらにDXとAIによるデジタル革命の追い風を受けて年率10%超で急成長し、2030年には現在の3倍の150兆円に達する勢いです。これに対して日本政府は、先端半導体の製造基盤整備とAI分野への投資判断を後押しすべく、関連法規の改訂と共に2021年度以降、2030年度までに補正予算で8兆円を超える補助金と金融支援4兆円以上の支援策を講じています。これに基づく、2024年から2025年の我が国半導体工場の新規投資の状況は、図に示すとおりです。

2024～2025年の半導体工場新規投資



2) GXあるいは低消費電力化の関係です。生成AIの発達に伴い、データの処理量が拡大し、電力消費量が爆発的に伸びています。これに対応するため回路の微細化による低消費電力化に加えて、ロジック半導体は、汎用チップから桁違いにエネルギーを節約できる専用チップへのシフトとデータの移動に要するエネルギーを桁違いに削減できる3次元集積化などのイノベーションが必要だからです。

3) 半導体は特に重要な戦略物資になっており、経済安全保障の観点からです。先端半導体の70%が台湾で製造されており、地政学的観点からリスク分散を図る必要があります。米国もドイツも台湾TSMCの工場誘致を進めています。

4) 半導体のサプライチェーンで川上にあたる製造装置や部素材の日本企業は、現在、高い世界シェアを有していますが、川下の工程が国内に無くなると、国内の産業クラスターが解体してゆくりリスクを抱えているからです。

しかし、日本政府はこれまでも半導体産業の再建策を何度か打ち出してきましたが、必ずしも期待した成果を得ていない現実がありますので、今回の復活を確実にするための主な課題は次の3点と考えられます。

1) 日本の半導体産業が凋落した結果、人材プールでボリュームの少なくなってしまった世代があるなど、人材育成が喫緊の課題です。

2) 九州ではウェハーに回路を描く前工程を担う台湾TSMCとソニーの合併によるJASMの工場が熊本に立地していますが、現状では、そこで作る半導体の封止・検査の後工程は海外で実施される公算が強く、後工程の世界最大手である台湾日月光投資控股(ASE)の北九州学術研究都市への誘致実現が急務です。

3) 最も重大な課題は、先端半導体を用いた付加価値の高い未来の新製品や新サービスを創出できる米国Appleのようなユーザー企業が、我が国には不在だと言う現実です。日本政府は、先端半導体の製造基盤整備への支援だけでなく、広範なユーザー企業育成の環境整備と支援にも重点を移す必要があります。

政府が半導体産業を強力に後押しする背景には、半導体が成長産業であり、これを自国の基幹産業として持つことの意義に加えて、主に次の4つの理由があります。

1) 半導体の安定供給を確保することが、産業のサプライチェーンの観点から極めて重要だからです。コロナ禍では半導体不足が顕著になり自動車やエアコンなどの供給に悪影響が出たことは記憶に新しいところです。

新年の挨拶

2025年(令和7年) 新年の挨拶 北九州市長 武内 和久



新年おめでとうございます。

北九州市は昨年9月に「5つの過去最高」を発表しました。企業誘致による投資額、北九州港フェリー貨物量、小倉城入場者数、ふるさと納税寄附額、市税収入のすべてが過去最高となりました。これは、北九州市が持つ人と人の

の「つながり」、熱い「情熱」、そして、確かな「技術」力の賜物です。

一年を振り返ると、IT企業や半導体関連などの未来産業が進出した影響もあり、人口の社会動態は、1月からの累計値が11月末時点でプラス値を維持しており、1964年以来60年ぶりの高水準となっています。

この背景には、滑走路3000m化を着工した北九州空港をはじめ陸・海・空のアクセスの充実、幅広い企業が集積し技術力があることや、年間3000人ももの理工系人材の輩出力、そして、地震など災害の発生が少ないエリアであること、暮らしやすい生活環境が整備されて

いることなどの北九州市のポテンシャルを見える化し、活用してきたことがあります。

この勢いをさらに増していくため、2025年は「女性」と「サステナブル」をキーワードに、「女性が活躍しやすいまち、コンフォートな(心地よい)まち」や、環境先進都市としての蓄積に裏付けされた「世界をリードするサステナブルシティ」を目指して、新たなチャレンジを続けていきます。

日頃より北九州テクノサポートの会員の皆様には、地域企業への支援をはじめ、市内企業の技術力の向上に多大なるご貢献をいただいております。今後も会員の皆様とともに、ワクワクする北九州市の未来を作り上げていきたいと思っております。

最後になりますが、本年が皆様にとってさらなる飛躍の年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春放談 北部九州・山口の新年と語る

(順不同)

北九州商工会議所

会頭 津田 純嗣



あけましておめでとうございます。

本年が北九州テクノサポートの皆様にとりまして、幸多き年になりますよう、心より願っております。

昨年を振り返ってみますと、キーワードは「変化」であったと思います。全国の多くの観光地がインバウンドでにぎわう様子を目にして景気回復の兆しを感じました。経済的には人々のマインドが前向きになった「景気的好循環」が始まった年だと言えるのではないのでしょうか。最大の要因は約30年ぶりの高水準となる賃上げが実現したことです。円安、原材料高、物価高の状況は変わりませんでしたが、高水準の賃上げ効果で6月には実質賃金が27カ月ぶりにプラスに転じました。今年も昨年を上回る水準の賃上げを呼びかけていかなければならないと思っています。着実な賃上げを定着させて、経済全体が成長していく「経済的好循環」の年になることを期待しています。

北九州の経済も全体としては安定していたように思います。ただし、小売業の伸び悩みやサービス業の賃金底上げなど課題を抱える業界もあり、全体の収入を増やすための取り組みが必要だと感じています。

最大の課題は人手不足です。対応には「デジタル化」が不可欠です。省人化が実現すれば、少人数でも事業の生産性や付加価値生産性の向上が可能になります。今、危機感を持ち事業の継続と成長を図ることが求められているのです。

当会議所は本年も事業者の「今」の問題解決に加え、事業承継など「将来」を見据えたサポートに取り組んでまいります。「昨年水準を上回る賃金アップ」と「デジタル化推進支援」。北九州が全国の先頭に立つて取り組む決意を持って、地域の事業者の発展と経済の活性化を目指してまいります。

TOTO株式会社 代表取締役社長執行役員 清田 徳明



新年明けましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、大規模な自然災害が世界各地で頻発し、紛争を含めた分断の深刻化、為替の乱高下等、過去の延長線上では考えられないような環境変化が起こりました。

年頭に当たり改めてこの状況を捉え直しますと、我々はこの急激かつ不安定な変化を「日常」として受け入れ、乗り越えることを求められているのだ、と考えています。

そのカギとなるのは「スピード」。TOTOグループが社会、お客様にとって必要とされ続けるための事業活動を従前の2倍速・3倍速で進めていかなければなりません。

一方で、短期的な変化に一喜一憂せず、長い年月をかけ蒔いてきた「種」が成果という「実」につながったという手ごたえも感じています。足下では、米州におけるウォシュレットの本格的な普及やセラミック事業が新たな柱へと成長しました。本年も未来の社会やお客様のために新たな「種」を蒔き続けてまいります。

本年も世界中の国や地域で、「TOTOがあってよかった」と信頼され続ける企業であるために、商品・サービスを通じて豊かで快適な生活文化を創造してまいります。

最後になりますが、北九州テクノサポートの皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年



TAIKO
refractories CO.,LTD.
大光炉枝株式会社

〒804-0054
北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL : 093-871-1631 FAX: 093-883-2151



総合福祉機器メーカーのリーディングカンパニーとして、
安心と快適を届ける技術で、お客様の生きる喜びを創造します。



本社における頸椎装具等の医療機器適用



義肢/装具/車いす/福祉用具/リハビリ機器

株式会社 有菌製作所
代表取締役 有菌 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL 093-661-1010 FAX 093-661-1670
URL <http://www.arizono.co.jp>

新春随想



2025年(令和7年) 新春随想 公益財団法人北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守央

新年あけましておめでとうございます。

NPO法人北九州テクノサポートの会員の皆様には、日頃から公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)の事業運営に対し、ご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

振り返れば昨年は、災害や事故など暗いニュースで一年がスタートしました。政治的にも日本やアメリカのリーダーが交代するなど、大きな動きがありました。

経済面では、マイナス金利政策の解除や、春先にかけて円安の急進、日経平均株価の史上最高値の更新とその後のブラックマンデー越えの値下がりなど、安定感に欠ける一年でありました。

一方、九州全体を眺めてみますと、半導体産業の集積や大型データセンターの建設が計画されるなど、今後の我が国の産業構造において重要な拠点となりうる可能性を感じる年になりました。

皆様の企業活動においても、このような環境や構造の変化に対応してゆくことが求められますが、すべての企業がそのためのノウハウやスキルを常に備えておくことは、難しいことでもあらうかと思えます。

私もFAISは、産官学連携による研究開発や学術研究の推進をおこないながら、企業の支援のためのセンターを北九州学術研究都市内で運営しています。加えて、中小企業支援センター(戸畑区)では、中小企業の方々の足下の課題を解決するための支援も行っています。

もちろん、すべての課題を私どもで一元的に解決できるわけではありません。

是非、北九州テクノサポートの皆様の有する高度な知見をいただきながら、ともに北九州地域の産業界全体の発展のために、手を携えてまいりましょう。

最後になりますが、皆様にとりまして、本年が良き一年となりますことを、心からお祈り申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

新春放談 北部九州・山口の新年と語る

(順不同)

(公財)北九州活性化協議会 会長 高城 いづみ

新年あけましておめでとうございます。



NPO法人北九州テクノサポートの皆様には、平素より公益財団法人北九州活性化協議会の事業運営に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この1年は、内需を中心とした底堅い成長が続き、社会経済活動は堅調に推移した1年となり、皆様の事業活動においても積極的に取組まれたことと思います。

北九州活性化協議会では、産学連携で取り組む北九州市の中堅・中小企業の人材育成による地域力強化、次世代のものづくり人材を育成する「北九州地域産業人材育成フォーラム」をはじめ、「小学校応援団」、「1000人の夢寄金」、「もったいない総研」の主要4事業を推進しています。

中でも、「北九州地域産業人材育成フォーラム」のインターンシップ事業は、数多くの学生の貴重な実践経験の場の確保、提供等ができて、より多くの地域企業を知るきっかけづくりとなっています。インターンシップを「課題」という切り口で取り組んだ学生にとっては、解決策を生み出すプロセスを体験したことにより、産業人材として自身の能力の飛躍に繋がったのではと強く感じています。また、学生を受け入れていただいている地域企業においては、次世代を担う産業人材育成の重要性を認識していただけているものと感じております。改めて関係者の皆様方には感謝申し上げます。

今後においても、北九州テクノサポートにおける産学連携のコーディネート、企業のコンサルテーションなどの機能は極めて重要であり、役割はますます大きくなっていくと考えております。北九州活性化協議会との連携をはじめとして、地域活性化の推進に、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、北九州テクノサポートの益々のご発展と皆様方のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

(公財)北九州観光コンベンション協会 専務理事 近藤 晃

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

NPO法人北九州テクノサポートの皆様には、平素より当協会の事業運営に格別のご厚情と、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は昨年7月に地域産業・企業の様々な事業課題の解決を目的に「西日本製造技術イノベーション」、「西日本DX推進フェア」、「エコテクノ」、「中小企業テクノフェア in九州」を柱とした総合展示会「課題解決EXP02024」を開催いたしました。

北九州テクノサポートのコーディネーターの皆様には、出展社と地元企業をつなぐビジネスマッチングをお願いし、大きな成果をあげていただきました。地元のニーズに精通した皆様の實力を感じた次第です。

参加いただいた出展社からも、事前のシーズ説明会からビジネスマッチング実施に至るまでのきめ細やかな対応に高い信頼と評価をいただきました。

また会場では出展者と来場者が「直接会って商談する」場を提供する事ができ、地域に根ざした展示会ならではの取り組みに改めてご評価いただいたものと感じております。

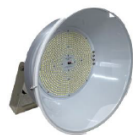
本年も7月に「課題解決EXP02025」を開催し、出展各社の新商品・サービスの展示や業界動向・行政の施策を紹介する講演会・セミナーを通じて、より活発な技術交流や商談の場を創出し、地域の経済発展に貢献したいと考えています。

また、本展示会の大きな魅力のひとつであるビジネスマッチングでは、長年の経験と知識をお持ちである皆様のご支援が不可欠であり、今後もより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、北九州テクノサポート様の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

脱炭素！電気代7.5%OFF
高効率LED照明



外出先から遠隔監視
Wi-Fi対応ネットワークカメラ



KOSEI JAPAN

限りある資源を未来に 地球環境に貢献！



エコアクション21
認証番号000825

株式会社コーセイジャパン

〒800-0315 福岡県京都市都賀町8-11
TEL 093-436-6136 FAX 093-436-6141

<https://www.kosei-japan.com>



千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
<https://www.chigusa.co.jp>

新春随想



2025年(令和7年) 新春随想 福岡県 商工部 中小企業技術振興課長 野見山 修治

新年明けましておめでとうございます。

貴法人におかれましては、国内有数のものづくり拠点である北九州地域を中心に、技術開発や産学連携など様々な支援を通じて、本県ものづくり産業の振興に御尽力いただいております。

影山会長をはじめ、会員の皆様の熱心な活動に深く敬意を表しますとともに、心から御礼申し上げます。

人手不足、原材料価格の上昇など中小企業の皆様を取り巻く環境は依然厳しい状況にあります。本県の雇用の8割を担い、地域経済を支えている中小企業の振興は、県の産業施策における最重要課題です。

県では、人手不足等に対応するため、「生産性向上」を支援する福岡県中小企業生産性向上支援センターを令和元年に開設しています。同センターでは、専門のアドバイザーが現場改善、デジタル化に

よる業務効率化、生産性向上に資する設備導入支援等、中小企業において、生産性向上の取組が定着するまで無料で伴走支援しています。

また、工業技術センターに中小企業の新技術・新製品開発等の取組を支援する機器を多数導入し、企業の収益向上に関し技術面から支援を行っています。

さらに、工業技術センターにオンライン相談体制を整備し、広域的かつ効果的な技術支援も進めております。

県としては、今後も、生産性向上や新技術・新製品開発等の支援施策を積極的に推進し、多様で活力あるものづくり中小企業の成長発展を図ってまいります。引き続き貴法人の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴法人のさらなる御発展と、会員企業の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念いたします。

新春放談 北部九州・山口の新年と語る

国立大学法人 九州工業大学 学長 三谷 康範



新年あけましておめでとうございます。

NPO法人北九州テクノサポートの会員、関係者の皆様には、平素から本学の産学連携における活動にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

九州工業大学では、中期目標として、「地域から地球環境に至る社会課題を解決し、よりよい社会の実現に寄与するため、研究により得られた科学的理論や基礎的知見の現実社会での実践に向けた研究開発を進め、社会変革につながるイノベーションの創出を目指す。」ことを掲げています。イノベーションを創出するためには、多様な人と人、多様な技術と技術の出会いが大切です。そこで本学ではキャンパス内に「共創空間」や最先端の「未来環境」を構築することで、学生、教職員、企業や地域の方々が未来を身近に感じ、自由な発想で新たなアイデアを生み出す環境づくりを進めています。

また、昨年は組織としての未来思考実証センターを新規に設置し、法規制対応や標準化等、社会実装活動の支援整備をスタートさせました。今年夏ごろにはオープンオフィスや、実証試験・規制改革の支援オフィスを備えた新たな建物「九工大未来テラス」も戸畑キャンパスに竣工予定です。アイデアの創出拠点である「GYMLABO」とロボット技術を中心に技術実証や具現化を担う「未来デザインスタジオ」との連携により、イノベーションの創出、よりよい社会の実現に向け一層推進していく所存です。

最後になりましたが、北九州テクノサポート会員の皆様には、本年も変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げるとともに、良き年となりますことを心からお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春放談 (賛助会員様)

有限会社ICS SAKABE 代表取締役 坂部 好則



新年あけましておめでとうございます。

NPO法人北九州テクノサポートの皆様には、昨年の地元展示会への出展サポートなど、数々のご支援を賜り誠にありがとうございました。

昨年は年初からの大規模地震や世界情勢の大きな変化など不安定な一年となりましたが、熊本でのTSMC社生産開始や北九州へのASE社の進出発表などの明るいニュースもあり、社会の大きな変化を実感する年となりました。

当社では、物流装置メーカー様へ、自動倉庫や生産ラインの制御盤など生産性を向上する装置制御盤の設計・製作や、産業用ロボットを用いた自動化事業を行い、モノづくりの企業様をご支援しております。

ご承知のように、2022年11月にOpenAIからChatGPTが公開され、生成AIの実際のビジネスでの急速な利用が始まり、実用レベルで注目される時代が来たと感じました。

当社では、2018年からAIを活用した3Dカメラのシステムを提案し、産業ロボットの「目+頭脳」としての活用を進めています。本技術は、産業ロボットの作業効率を向上させるだけでなく、従来では自動化できなかった場面で産業ロボットを活用する革新技術として貢献しています。

昨年、当社はリサイクルプラント事業者様向けにAI監視システムを導入しましたが、プラント内の異常を早期に検知しアラートを送り事故防止に役立つと好評を得ています。

AI技術は日進月歩で進化しています。当社も技術進化とお客様の声に耳を傾け、より良い製品・サービスを提供できるよう、日々努力してまいります。

最後になりますが、北九州テクノサポートの皆様、そして会員企業の皆様のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹賀新年



フォーラムを活用して インターンシップをやってみませんか？

産業人材育成フォーラムは、KTS・北九州の工学系大学と連携し、人材育成の為にインターンシップに取り組んでいます



北九州地域産業人材育成フォーラム
(公益財団法人 北九州活性化協議会)

詳しくはコチラ

九州最大級の製造現場向け展示会!!

2025 7.2[水] ▶ 7.4[金]

西日本製造技術
イノベーション

中小企業テクノロジー in 九州

西日本製造

検索

中小企業テクノ

検索

西日本総合展示場

小倉
駅 5分

公益 北九州観光コンベンション協会
Kitakyushu Convention & Visitors Association

Topics 2 KTS事業活動における外部組織との連携について

広報・デザイン支援Gr.長 林 慶三郎

当法人KTSの活動形態としては6つの支援グループによる支援(剛構造支援)と創出された課題にマッチした要員編成による支援グループのかきねをこえたプロジェクト支援(柔構造支援)がある。これらの活動は正会員での取り組みと共に、外部組織との法人又は個人での委託・受託契約や会員登録等によるつながりのもとでの協働や情報共有を行うことによりKTSの事業目的である北九州・山口地域のまちづくりの活力を担う中小企業の支援の達成につなげています。

KTS主要事業3本柱の外部組織との連携を表に示します。

受託事業	契約先(委託・受託)
北九州地域産業人材育成	北九州産業人材育成フォーラム(KPEC)
展示会ビジネスマッチング	(公財)北九州観光コンベンション協会(KCV)
エコアクション21認証登録	(一財)持続性推進機構中央事務局(IPSUs)

これらに加え、行政機関との連携やKTSが会員として所属する主な関連団体・機関として北九州商工会議所(アドバイザー支援制度)、山口エコ市場(環境政策の協業)、(一社)山口県産廃協会(業界情報共有)や(公財)北九州産業学術推進機構(技術情報共有)等との連携、

また、NPO活動の基本として北九州市市民活動サポートセンターや日本NPOセンターに登録しています。

最近の協働事例では北九州SDGsクラブや地方創生SDGsプラットフォーム登録以降、北九州DX推進プラットフォームやGX推進コンソーシアム登録・参加等、また、直近では次のような取り組みを進めています。

■省エネ診断事業者：中小企業のエネルギー利用最適化のための省エネクイック診断や効果測定等の実施での(一社)環境共創イニシアチブ(SII)への2024年10月登録。

■IQUESTECH(アイクエスト)試用：AI活用ニーズ・シーズマッチング支援システムの試用による九州工業大学との連携強化。

今後のKTS事業活動の活性化のための更なる外部組織との連携強化に当たり、各支援Gr.としての、または各会員の自発的・積極的な外部組織との連携への取り組みが望まれます。

なお、現状としてKTS会員個人契約での登録や活動期間の限定、契約の発展的解消等もあり、連携の全体について把握が必ずしも行き届いていない場合もあり、今後、外部組織との関わりの適切な情報共有による「KTS内での見える化」を進め、KTSとしての全体最適化を図っていくために会員各位のご協力をお願い致します。

エコアクション21地域事務局環境未来の活動状況

責任者 手島 邦彦

1. **エコアクション21導入セミナー**：7月10日にZoomでリモート形式の導入セミナーが開催され、山口県産業廃棄物協会、やまぐちエコ市場、福岡県(飯塚市、北九州市)の事業者を対象に、新規認証・登録事業者の拡大を目指しました。



(写真：エコアクション21導入セミナー並びに集合コンサルティング・実践講座)

2. **アフターフォローアップセミナー**：10月16日には、既存の認証・登録事業者向けにアフターフォローアップセミナーがZoomで開催され、エコアクション21のシステム復習が行われました。講師として

エコアクション21審査員の安広審査員が登壇し、その後、推奨された4社が自社の取り組みや改善事例を発表しました。参加者からは好評を得ており、今後の活動促進に繋がると期待しています。

3. **北九州市長感謝状授与**：13年目を迎えた北九州市長感謝状授与制度では、環境に配慮した取り組みを行った「ひびき灘開発(株)」、「(株)稲富プレス工業所」、「三共建設(株)」の3社に感謝状と記念品が授与されました。

4. **認証・登録事業者数の拡大**：現在、全国で約7,490社がエコアクション21に認証・登録され、当地域事務局では約320社を担当しています。温室効果ガスの削減や環境活動に積極的に取り組む企業が増加することが、地球環境保全にとって重要であり、今後さらに多くの企業がエコアクション21を導入することを期待しています。



3025

謹 賀 新 年



北九州・小倉で創業して92年！

鉄道通信機器を主力とする通信機器メーカーです
(JR九州様 放送装置シェア94% / 駅数換算)
設計(電気回路・ソフト・機構設計)～製作～メンテナンスまで自社で一貫して
行っており、設置環境に応じた最適な通信システムの提案を行っています

株式会社 カンノ製作所

http://kanno.co.jp

[本社]〒802-0022 北九州市小倉北区上富野 1-5-25
TEL (093)521-9531 FAX (093)511-6470



九州鉄道機器製造株式会社

〒800-0028 北九州市門司区下二十町 2番 30号



取扱製品

分岐器・継目板・レール溶接工事
伸縮継目・九鉄式フックボルト
ケミカルアンカー・トンネル用H形支保工
鉄道車両部品・道路照明灯・タイプレート

お掃除ロボット・配送ロボット始めました！





産業用ロボット安全特別教育実施中!!

ICS 有限会社 ICS SAKABE

〒802-0061 福岡県北九州市小倉北区三郎丸1-12-17
TEL : 093-932-7480 FAX : 093-932-7481
URL : <http://www.icssakabe.com>



ICSSAKABE.COM ICSSA
KABE.COM ICSSAKABE
COM ICSSAKABE.COM



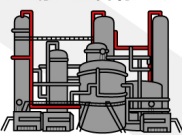
株式会社 新大倉

Engineering, Procurement and Construction

新大倉

検索

工場がお客様です



その工場の
Engineering
設計

Procurement
調達

Construction
工事

が仕事です

NPO法人北九州テクノサポート支援グループ活動紹介

◆ 技術・環境経営ものづくり支援グループ ◆

(1) **技術・ものづくり支援**: ものづくり現場の自動化を進めるため、K社においてロボット化に手を付けられていなかったレールの変形矯正の作業にFSの開発予算がつき、地元大学の協力も得ながら進めている。

(2) **環境経営支援**: 2024年9月に(一社)環境共創イニシアチブ(SII)より令和5年度補正予算「中小企業等に向けた省エネルギー診断拡充事業」(通称:省エネクイック診断)の事業者登録の話があり、メンバーの勧誘を始め、実施体制の構築を行い実施事業者として採択された。本年1月末の締切までに10件以上の実施を行うこととなり、EA21実施事業者様を中心に診断先を募集している。

(3) **経営支援**: 北九州市の施設である「あじさいの湯」が2019年で閉館後、再開の目途が立っていないが再開を望む声も多く、再開に向け現状の実態調査を始め、地元の議員や有志の方々との討議を重ねている。施設老朽化に伴う、改修工事の費用や温泉運営を行う団体の募集など、過去からの経緯を紐解きながら再開への知恵出しを行っている。

◆ 産学官連携人材育成支援グループ ◆

(1) **地域連携インターンシップの支援**: 北九州地域産業人材育成フォーラムからの委託による業務で、今年度は、研修型(短期)は登録企業が78社に増加したが、受入決定企業16社、参加学生34名となり、実践型(長期)では登録企業8社で受入決定企業4社、参加学生4名となった。2023年度から導入された採用とインターンシップの制度見直しの影響が出てきている。

(2) **北九州市風力発電人材育成連絡会業務支援**: (公財)北九州活性化協議会からの委託により北九州市内に拠点を有する風力発電関連企業3社と北九州市内の大学・高専・高校の8校との関係強化を図るコーディネート業務を会員4名で担当している。

◆ ISO・EA21支援グループ ◆

(1) **各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化**: KTSの省エネクイック診断事業者登録及び実務開始に従い診断業務参加及び診断先開拓支援を行っている。

(2) **EA21認証取得事業数の拡大**: 実践講座の文書類事例改訂や講師派遣、普及戦略会議への委員派遣、フォローアップセミナー参加の呼びかけ、北九州市長感謝状表彰選考会委員派遣等を行っている。

(3) **ISO認証維持・新規取得支援**: 支援業務体制づくりのため、Gr.内研修会でISO/EA21要求事項の相互関係の把握等を行っている。

(4) **グループ会員の相互研鑽**: 地域事務局環境未来勉強会に参加し、審査員の力量向上に努めている。課題には、i-Construction、防災・減災、環境関連法規の改正、チャットGTPの使用方法等がある。

(5) **エコアクション21**より(KTS通信瓦版)No.19 : 2024年7月1日に発行した。

★ ISO・EA21支援Gr.勉強会 ★

本勉強会では、当グループ員の力量向上、ISO及びEA21の認証取得支援と認証継続支援に関する課題とその解決策、SDGsやカーボンニュートラルなど中小企業に役立つ知識を学んでいる。本年度は、環境マネジメントシステム(EMS)に関する勉強会を隔月で開催した。この勉強会では、ISO14001、エコアクション21、地方自治体やNPO、中間法人が策定した環境マネジメントシステムの内、全国規模のエコステージやKES・環境マネジメントシステム・スタンダードの4つのEMSの内容やツールについて学んだ。これにより、事業者が持続可能な発展を遂げるための知識と実践力を高めている。



北九州から全国へ
気象とものづくりで
企業の安全を支える

◎気象の総合コンサルティング
◎気象海象予測・予測情報提供
◎気象観測機器レンタル

気象庁予報業務許可第51号

システム株式会社
System & Meteorology
〒802-0979
北九州市小倉南区徳力新町2-8-11
TEL 093-965-1033
FAX 093-965-1055

国土交通省 NETIS登録商品

独自の技術力で豊かな未来を創造します。

株式会社 測研
Sokken

【総合気象観測】 【波浪調査:海底設置型波浪計】 【自社開発:潮位観測システム】

気象・海洋・河川調査解析 / 港湾・漁港・海岸のアセットマネジメント

北九州市戸畑区境川2丁目4番5号 TEL:093-883-1511
http://www.sokken.com

プラスチック金型 製品用 設計・製造

◆自動車部品
◆医療機器
◆光学機器
◆家電製品 ほか

西日本精機株式会社
〒808-0109 北九州市若松区南二島2丁目25-13
TEL:093-701-2395 FAX:093-701-2509
URL: https://www.nishinihonseiki.co.jp/

株式会社アンクル
@UNCLE

地方自治体システム開発・販売 / 会計システム販売
その他システム開発 / コンピュータ関連機器販売

本社 福岡県京都市都府町京町一丁目11番地5
開発センター 福岡県京都市都府町港町4番5号
TEL 093-436-5788 FAX 093-436-5789
熊本営業所 熊本市中央区水前寺公園28番36号
TEL 096-288-0035

URL http://www.e-uncle.co.jp/

技術力と応用力で、産業を支える
モーターメンテナンスのプロ集団

株式会社 野村工電社
〒755-0065
山口県宇部市浜町2丁目3番19-1号
TEL:0836-31-0601

ガラスレンズ金型 (超硬合金製)

自動車の自動運転技術に必要なカメラやセンサーに使用されるレンズを製造するには弊社の『超精密加工技術』が必要です。1/1000mm以下

株式会社 ワークス
夢のあるものづくり
WORKS Co., Ltd.
〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津 1445-1
TEL: 093-291-1778 FAX: 093-291-2728

NPO法人北九州テクノサポート支援グループ活動紹介

◆ IT活用支援グループ ◆

- (1)NPO-KTSのホームページ改版と維持管理: 広報・デザイン支援 Gr.の協力を得て、KTS通信、EA21地域事務局の情報、賛助会員企業の紹介などの更新・維持をルーチンとして実施している。
- (2)中小企業のIT活用支援: 技術・環境経営ものづくり支援Gr.等と連携して中小企業の業務効率化に向けたIT化やDX推進の相談・技術支援を実施している。
- (3)「第4次産業革命」勉強会の開催やセミナー参加: DX推進の勉強や事例の情報収集として北九州市DX推進プラットフォーム主催の「北九州DXツアー」やその他の団体・機関の主催するDX推進セミナーに参加した。
- (4)テレワーク環境構築による業務効率化とCO2削減支援: KTS内部のテレワーク環境整備ツールとして導入・運用中のMS Teamsの使い方を再度勉強し、会議の効率アップを実施している。

★第4次産業革命勉強会★

本勉強会は、我が国の「第4次産業革命元年宣言」を機に、KTSとして中小企業支援に役立てるよう、2016年1月の第1回開催以降、コロナ禍対応もあり、近年はオンライン勉強会を主体として取り組んでいる。最近では2024年5月に機電研様のIoT導入支援キットVer.3の使用方法を学んだ。(Vol.43掲載)

今後の開催においては、会員のスキルを高めていくべく、各支援Gr.の垣根を越えてDX関連団体・機関の会合への参加、DX推進セミナーへの参加等を初め、企業でのDX推進の取り組みと導入事例情報や今後の動向などを題材として勉強会を計画するので積極的な参加をお願いしたい。

◆ 販路開拓ビジネス支援グループ ◆

- (1)課題解決EXPO2024でのビジネスマッチング(BM)支援: (公財)北九州観光コンベンション協会主催、2024年7月3日～7月5日開催事業について受託、1月から活動を開始し、BM支援対象の企業は151社になり、出展企業のシーズを踏まえ地元企業377社へ紹介し、会場への来訪 橋渡し・搭合せにより876件のBM支援を実施した結果、商談可能件数117件、商談見込み額9,114万円の成果を得た。
- (2)次年度BM支援に向けての活動: 課題解決EXPO2025の魅力・興味を呼び起こす活動を展開し、各企業の課題に対応する出展企業とのビジネスマッチングにつなげる。新しい技術なども取り入れ、各企業と連携で質の高い活動成果に結びつくよう、様々な意見を参考にしながら展開する。

◆ 広報・デザイン支援グループ ◆

- (1)KTS通信: Vol.42(2024年冬号)新年特集号を2024年1月に、Vol.43(2024年夏号)総会特集号を2024年7月に発行し、冊子配布及びPDF配信並びに、IT活用支援Gr.に協力しホームページに掲載。これらを媒体として会員企業(賛助・協賛会員)の広報支援の実施、各Gr.活動との協働での配付継続による広報誌読者の拡充や支援企業との関係づくりのツールとしての利用に供している。
- (2)KTS事業紹介や会員企業紹介: 展示パネル、プレゼンツール、広報資料等の更新PR媒体を提供し、販路開拓ビジネス支援Gr.のBM活動を支援した。又、2025年度展示会等を含めて利用する広報媒体の更新を進めている。
- (3)会員への情報提供サービス: 正会員並びに賛助会員・協賛会員への情報提供を継続している。(2024年1月～12月の実績計 34件)



謹賀新年



Matsushima
Matsushima Measure Tech



株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837
北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735

お問合せは
コチラ



マツシマメジャテック



ステンレス・アルミニウム・チタン
金属研磨で“価値”を与える会社



東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD.

〒818-0131 福岡県太宰府市水城6丁目31-1
TEL: 092-928-3733(代) FAX: 092-928-5430(代)
e-mail: info@toyo-kenma.co.jp
HP: https://www.toyo-kenma.co.jp/

POINT 01 安全・迅速
POINT 02 3D同時計測



POINT 03 高精度

POINT 04 直観的!!

Only one 北九州オンリーワン企業
Nishikubo Only one company 2011

ドローンによる目視検査(空撮)
30倍ズームカメラ
及び赤外線サーモカメラ搭載



計測検査株式会社
北九州市八幡西区陣原1-8-3
TEL: 093-642-8231

ベストプランを
ご提案します!



三栄機工株式会社
福岡県知事許可(般-21)第99106

選別機械 / コンテナ製作
搬送設備 / リサイクル設備
コンベアカバー

設計・施工・修理・メンテ

http://www.sanei-kikou.com/



福岡県京都郡苅田町若久町3-22-5 TEL 093-434-2737

フロライト株式会社
PROLIGHT

水銀灯に代わる次世代照明

無電極ランプ エコ太郎

- 無電極ランプ「エコ太郎」製造
- 高天井・検品・検査照明
- スポーツ・体育館照明

MADE in JAPAN

明るいのにも
まぶしくない

Electrodeless Lamp
ECOTARO



省エネ 消費電力は水銀灯の1/3
長寿命 寿命はLEDの約1.5倍



会員募集

随時受付



☆ 第一線をリタイアされた皆様 ☆

あなたの経験や知識・技術、人脈を生かしませんか!

☆ 北部九州、山口地域の企業様 ☆

経営・技術等の御社課題を協働で解決しませんか!

NPO法人
北九州テクノサポート

TEL 093-873-1453
e-mail Info@npk-kts.org

株式会社 コーセイジャパン

2024年11月29日に同社本社工場をお訪ねし、代表取締役安陵範浩様にお話しをお伺いし、工場見学をさせて頂きました。(荒巻・林理事)

■会社の沿革と業況

同社は1973年に会社設立し、操業当時は製鉄所の高炉建設等に携わっていたが、1995年頃より省エネ照明の製造販売を始め、当時は蛍光灯の省エネとしてインバータ式安定器による省エネを行っており、約20年間で累計20万台以上販売し、省エネに貢献してこられた。そして、2010年よりLED照明の製造販売にシフトし、現在の主力事業として取り組んでいる。

安陵代表取締役

震災による原子力発電所の停止や水銀条約による従来照明の製造終了も重なり、LED照明の普及は爆発的に進み、同社のモットーである「限りある資源を未来に地球環境に貢献！」を掲げ、更なる前進をしている。

■今後の展開

同社の主力事業のLED照明の販売も最盛期を過ぎ、コロナ禍以降は若干設備投資が鈍化していたが、水銀条約の改正で2027年に全ての蛍光灯が製造および輸出入禁止となるので、今後3年間にLEDへの入れ替え需要の最大化を迎える。しかしコロナ禍以降、原材料高騰と円安により製造コストが上がり市場競争力が低下しており、事業運営としては楽観的ではなく、現在は照明だけにこだわらずお客様のニーズに応じて省エネ空調の販売や、昨今の強盗事件による安全対策として防犯カメラ等の設置販売も行っており、今後も更なる展開を図る。

また照明事業は自社製品にこだわらず協力メーカーの良いものを取り入れ、お客様に最もマッチする商品を提案するようにコンサルティングに力を入れており、照度改善を希望される場合は、照度計算ソフトを使った無償照度シミュレーションも行っているため、是非、活用頂きたい。

■KTSへの期待

これまでLED照明の販売では、中小企業テクノフェア等で多大なるご支援を頂き、多くの導入実績を上げさせて頂きました。大変感謝しております。今後は省エネ照明だけに限らず、取り扱いを増やしていきたいと思っておりますので、引き続きご支援頂きたいと思っております。

◇ 会社概要

■所在地: 福岡県京都郡苅田町港町8-11 ■TEL: 093-436-6136
■代表者: 代表取締役 安陵 範浩 ■創立: 昭和48(1973)年5月
■資本金: 3,500万円 ■従業員数: 2名
■事業: ・LED照明の開発及び製造販売
・監視カメラ、空調機器等の施工販売
・電気工事業(福岡県知事許可(股-27)第94002号)
URL <https://www.kosei-japan.com>

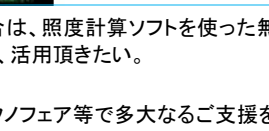
脱炭素! 電気代75%OFF
高効率LED照明



外出先から遠隔監視
Wi-Fi対応ネットワークカメラ



特定フロム(R22)から
代替フロム(R32)への
切り替え提案も推進
猛暑対策



株式会社 カンノ製作所

2024年11月27日に同社北九州工場をお訪ねし、取締役技術開発部長片濱孝司様にお話しをお伺いし、工場見学をさせて頂きました。(日下・林理事)

■会社の沿革と業況

同社は1930年9月に創業し、主に情報通信機器メーカーとして放送・通信分野でノウハウを蓄積してきた。1994年に北九州工場(京都郡苅田町)を新設して小倉第一・第二工場を移転し、1996年には各種の設備工事、および設備の保守・点検管理業務を担う子会社、(株)カンノエンジニアリングを設立した。2018年にはCIを「INNOVATION TO CONNECT」つなぐを革新する」として、場所、装置、人、音、データをつなぐ技術を革新することで社会の安全、安心に貢献、通信の革新に挑戦し、新たなサービスの創出を行ってきた。多言語翻訳放送装置「Qua Voice(クアボイス)」の他、増えている無人駅に対応して管理駅から遠隔で操作可能な「列車接近遠隔放送装置」、スマートフォンで遠隔からマイク放送が可能な「マイクマスター」、また遠隔・多地点の踏切遮断機故障を監視する「踏切遮断機の故障検知システム」、小型安価な「列車接近表示器」など鉄道向けの新しい製品の開発ならびに国内鉄道会社の諸路線での実機配備を行ってきた。



北九州工場2F 設計フロア

■今後の展開

これまで培ってきた技術を再整理し、今後の新商品開発に生かしたい。また、メンテナンスやアフターサービスを強化して販売につなぐようにしたい。さらに5Sの定着で現場でのミスや不具合の発生が減ってきているので、生産性の向上に取り組みたいと考えている。コロナ禍の中、展示会への出展も止まっていたが、昨年から再開。製品や技術を展示するというより、リクルートを兼ねて、学生・生徒に会社を知ってもらうことを主眼に展示することとし、今年の「中小企業テクノフェア in 九州2024」では多くの学生・生徒のご来場があったので継続して取り組みたい。

■KTSへの期待

生産性の向上につながる取り組みの情報提供や指導を期待するとともに、まだまだ不足している会社の認知度の向上につながる支援をお願いしたい。



列車接近表示器



中小企業テクノフェアin九州2024

◇ 会社概要

■所在地: 北九州市小倉北区上富野1-5-25 ■TEL: 093-521-9531
■代表者: 代表取締役社長 賀来 康人 ■創業: 昭和5(1930)年9月
■資本金: 6,000万円 ■従業員数: 140名
■事業: 官公庁・鉄道会社・大手メーカー向け等の電気通信機器製造販売
(放送、電話、監視、伝送等の各システム)
URL <http://www.kanno.co.jp>

会員動静 (2025年1月10日現在)

正会員	法人会員(賛助会員、協賛会員)
66名	22組織

理事会組織

会長 影山 隆雄 副会長 吉田 剛、古谷 長蔵
事務局長 堀 昭三
理事 日下 尚司、関屋 建三、手島 邦彦、寺山 雅也
徳永 昌哉、林 慶三郎、松本 昭喜、渡邊 朝子
(以上、三役を除く理事 50音順)
監事 藤崎 正昭、吉開 悟 (以上、監事 50音順)

活動グループ

・技術・環境経営ものづくり支援Gr.
・産学官連携人材育成支援Gr.
・ISO・EA21支援Gr.
・IT活用支援Gr.
・販路開拓ビジネス支援Gr.
・広報・デザイン支援Gr.

★KTS情報交換会★KTS会員の活躍の場の拡大、KTSとしての事業活動の活性化を目的として企画チームを立ち上げ、2018年2月に初会合(黒崎COMシティ)を行った。以降、年3回程度の頻度で継続している。第14回会合を2023年9月23日オンライン開催に実施し新入会者紹介、Gr.紹介、プロジェクト参加呼びかけや情報交換等を行った。その後は個別に情報交換を行ってきたが、SIIより省エネ診断事業者登録の話が持ち込まれ、2024年10月に登録されたので、その紹介を兼ねて情報交換会の開催を計画している。

編集後記

昨年(2024年)も政治・経済・社会で大きなニュースが目白押しでしたが、当広報誌においても限られた誌面での読者様に役立つ記事構成・編集に無い知恵を絞りました。更に誌面を充実し、冊子の配布に加え、PDF版のメール配信、HP掲載や展示会でのPR活動等を通してKTSの事業情報をお届けして参ります。正会員はもとより、賛助・協賛会員様。ご関係者様の更なるご意見・提案を賜りますようお願い申し上げます。(編集委員一同)



検索 北九州テクノサポート

<http://www.npo-kts.org/>

正会員・賛助会員の申し込み受け付け
ホームページから申込用紙をダウンロードできます。



NPO法人 北九州テクノサポート

広報誌「北九州テクノサポート通信Vol.44」

令和7年(2025年)1月10日発行

編集・発行: NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援Gr.)

北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクノセンタービル 806号

TEL/FAX: 093-873-1453 E-mail: info@npo-kts.org